

病院事業だより

⑮市立病院における薬剤部の役割

～市民の皆さんと未来の病院事業と一緒に考えるため、登米市病院事業についてシリーズで紹介します～

■市立3病院における薬剤部の役割

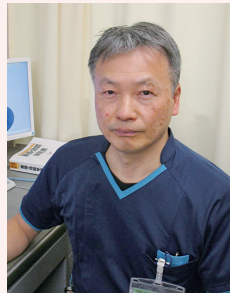
薬剤部では、主に調剤業務、製剤業務、医薬品情報業務、医薬品管理業務、薬剤管理指導業務などを行いながら、処方された医薬品の監査や、医師や他の医療従事者との意見交換を通して、業務の最適化を心掛けています。

入院や外来の調剤業務では、他で処方された薬との飲み合わせはもちろん、患者さんの過去の服薬履歴や体の状態と処方内容を照らし合わせ、留意点があれば医師に相談するなど、薬物療法が効果的に行われるようサポートしています。

薬剤管理指導業務では、入院患者さんに対する薬品の効果や副作用、服用方法を説明し適切な服用につなげています。

さらに、登米市民病院では専門的な治療への対応力を高めるため、がんや感染症、糖尿病などの認定資格者を配置し、がん患者の痛みのコントロールや感染予防、糖尿病の療養指導など、薬を通じて、患者さんの治療効果向上に努めています。

Interview



市民病院薬剤部
小野寺 裕昭
薬剤部長

コロナ禍、市民の皆さんの中には解熱鎮痛剤などの医薬品を手に入れるのに苦労した人もいたと思います。現在医薬品流通は、新型コロナウイルス

ンがベルギーからマイナス70度で16時間をかけての空輸が必要であったように、薬品原材料の入手が世界のさまざまな出来事の影響を受け、薬不足が発生する事もあります。令和2年からパンデミックや紛争などが続き、改めて薬剤師の最も重要な仕事「薬を届ける」ことの大切さを感じた3年間でした。これからも市民の皆さんに適切な薬物治療が行えるよう薬剤部一同心掛けていきます。

薬剤部の紹介



薬を正確で迅速な提供ができるよう、最新の監査システムを導入しています。



患者さん一人一人にチームで対応します。



薬の使い方や注意点を丁寧に説明します。

【問い合わせ】
登米市民病院管理課 ☎0220(22)5511

Information 07

災害時大切な命を救うのは情報です

■緊急情報や行政情報がメールで届くメール配信サービス

市では、防災・防犯情報と市からのお知らせなどを電子メールで届ける「メール配信サービス」を行っています。

近年、突発的な豪雨災害や特殊詐欺、不審者のつきまとい事案などが全国的に増えています。市は、災害などの情報を、防災行政無線などで皆さんにお知らせしていますが、天候などの影響で防災行政無線の放送がはっきりと聞こえなかった場合は、メール配信サービスによる情報収集が有効です。迅速・確実に、希望している人に必要な情報が届き、後からでも確認できるメール配信サービスを、ぜひご活用ください。

配信情報は、3つの項目の中から必要なものを選ぶことができます。

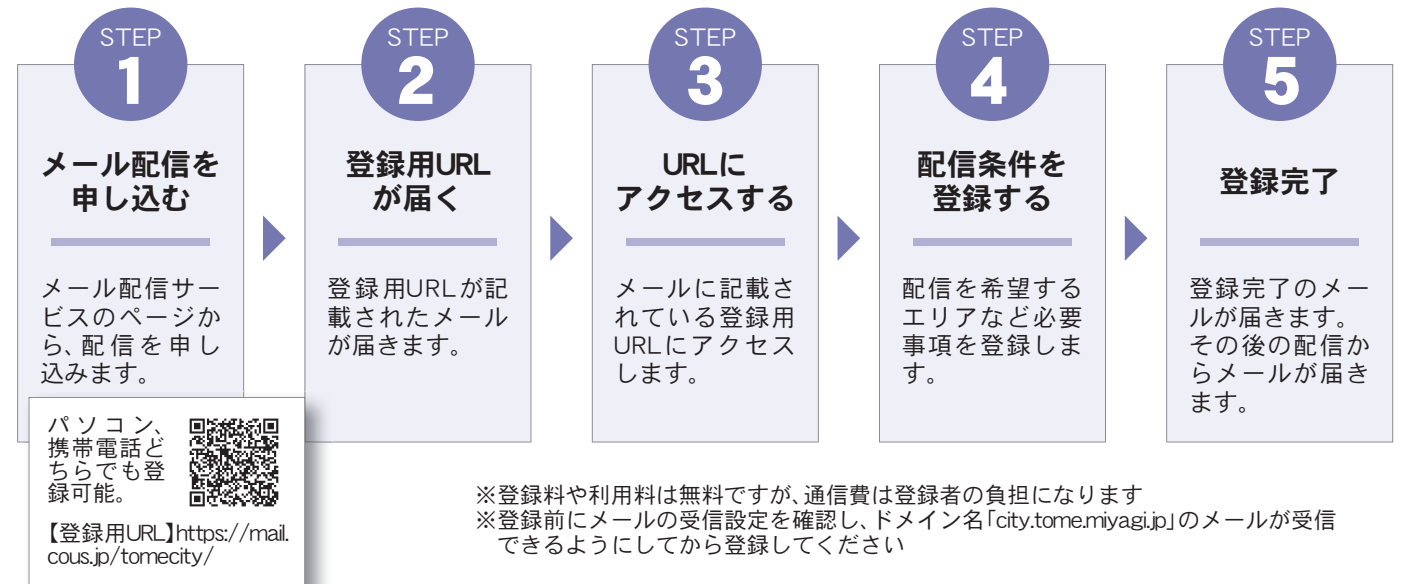
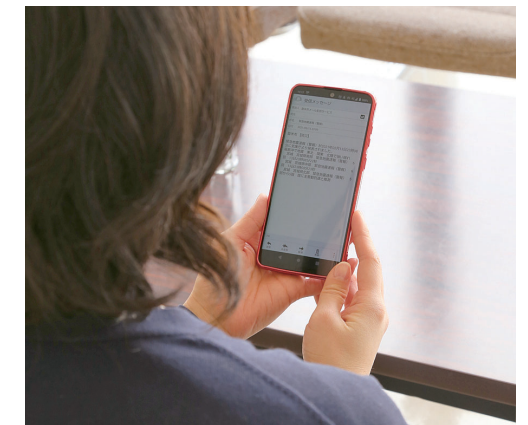
- ①防災情報 = 火災、その他市民の安全に関わる緊急情報、道路規制(全面通行止め)など
- ②防犯情報 = 不審者、犯罪発生、特殊詐欺やその他防犯

に必要な情報など

③市からのお知らせ = 市内の主なイベントやその他のお知らせなど

【問い合わせ】まちづくり推進部まちづくり推進課(広報係)

☎0220(22)2147



SNSを活用した情報発信

●市公式フェイスブック

市の見どころや観光情報、市内で開かれたイベントの様子などの他、市内での出来事や市の各種事業のPRなどきめ細やかに掲載しています。



市公式フェイスブック

●市公式ライン

各種事業案内や募集情報、図書館・子育て支援センターだよりなど最新の市政情報を配信。また、道路等の損傷をラインを通じて通報できます。



市公式ライン「友達登録」